

テーマ 女性の登用（活躍）による事業・活動の展開

## 子育て世代女性の地域振興と商店街活性化活動の融合

### 大映通り商店街振興組合

目的を同じくする子育て世代女性が中心となる地域振興活動と商店街活性化活動が融合することで、まちのブランディング、地域振興の契機となる。

#### 背景と目的

近年、大規模小売店舗が相次いで開店する京都市内において、右京区に位置する当商店街も空洞化対策、活性化が課題となっている。当商店街が立地する太秦地区は昭和初期から複数の撮影所があったことから「キネマのまち」と別名をもっており、地域資源の「映画」をコンセプトにイベントの実施、映画フィルムに施したカラー舗装を行うなどの取り組みを行っていたが、商店街活性化には、なかなか結び付かなかった。

そのような中、商店街に子育て世代の女性が中心となり、地域振興を

目的の一つとするNPO法人が参画、同NPO法人の女性理事長が組合内においては専務理事に就任し、商店街組合とNPO法人が連携した活動を行うことで商店街及び地域の活性化に繋がっていった。

#### 事業・活動の内容

組合内において、キネマキッチン事業、夏祭り、ガラガラ抽選会等の組合事業運営に携わるとともに、代表を務めるNPO法人との連携を密にした事業実施が可能である。「地域の魅力」を、商店街を通じて創出する事業を商店街・NPO法人双方で実施し、特に「地域の人」と「子どもを中心とした各世代」を絡ませた取り組みに注力している。商店街組合内部においては「新参者」「女性」であることではなく同氏の行動力・発言力が評価され、専務理事として活躍している。女性として特段に性別を意識することなく、「1人の組

織人」としての責任を持った発言や、活動を貫いている。

#### 活動の成果

商店街組合員内部においても自主的な取組みが活性化し、様々な活動が地域の活性化（来街客数の増加、イベント参加人数の増加）に繋がり、「正のスパイラル」が生まれることで「商店街」という「場」の活用、魅力の高まりを見せている。商店街という一つの「場」を育てていく過程の中、平成25年3月、商店街のシンボルとなる「大魔神」像の設置、コミュニティスペース「キネマキッチン」開店となった。これがさらなる融合反応を発生させる起爆剤となり、地域全体の活性化、「街の付加価値」を向上させることで、地域外・外国人観光客等の来街者の増加、商店街内で新規出店や新規加入者に繋がっている。

商店街の活性化・地域の活性化に

は来街客の増加はもちろんのこと、ハードウェアとしての多種多様な魅力ある店舗が必要であり、「ビジネスを行うに適した街」として受け入れられる体制が構築されてきており、「街の付加価値」のさらなる向上のため、それらを推進されていくことが期待されている。



▲「キネマの街大映通り」として商店街のシンボルとなっている「大魔神」像。

#### 大映通り商店街振興組合

住所：〒618-8152  
京都府京都市右京区太秦堀ヶ内町31  
たぬき堂書店内  
設立：昭和46年10月  
出資金：660千円  
電話：075-861-0534  
URL：<http://kinemastreet.com/>  
業種：飲食業・食料品小売業・日用品雑貨小売業  
組合員：60人